

中川 勲 議員（代表質問）

1 平成28年度予算について

- (1) 今年度重要施策の第2子保育料無料化について
 - ア 事業の狙いは何か。また具体的にどの範囲まで無料か。
 - イ 対象児童は何人か。また予算はどれくらいになるのか。
 - ウ 財源はどこからか。また来年度以降も行うのか。
 - エ 財源を考える中で、過去に、坪川保育所、あずま保育所の統廃合問題があったが、今後そのことも視野に入れなくてはならないのではないか。
- (2) 科学・理数教育の充実に予算が計上されているが、どのような教育体制で行われるのか。
- (3) 屋内練習場建設の実施設計予算が計上されているが、どういったスポーツの練習に使うのか。構想はできているのか。建設場所も決まっているのか。また市民の意見も取り入れるのか。
- (4) 地方創生に関わる事業と予算はどうなのか。

2 観光事業について

- (1) 観光船キラリンの購入費や営業に至るまでの経費、営業における運航費はどうなるのか。
- (2) ほたるいか海上観光における体制は万全か。
- (3) 観光船キラリンによる富山湾岸クルージングについて、具体的にどのように進んでいるのか。また運航・運営方法・PR・事業費などはどうなるのか。
- (4) ダイビングスポット整備費があるが、場所等も含め、どう整備するのか。

3 議会が昨年11月に提言した「公共施設のあり方」について

- ・ どう受け止めて、28年度事業に活かされたのか。

4 教育について

- (1) 18歳以上選挙権に対する取り組みはされたのか。
- (2) 道徳教育が小学校では2018年、中学校では2019年に特別教科とされるとのことだが、これまでの授業とどう違うのか。また先生の負担が増え大変なのでは。

5 安全・安心のまちづくりについて

- (1) 津波対策班が危機管理班に変更されたが、これまで津波への対策は進んだのか。また今後は危機管理班とのことであるが、どの範囲までの対策をするのか。東日本大震災から5年が経過しようとしているが、あらためて防災に対する決意を伺う。
- (2) 防災無線のデジタル化はいつになるのか。
- (3) 児童生徒の通学道路・一般市民の生活道路の安全確保の整備、あるいは歩道の整備、防犯灯の整備、安全表示の整備等の計画について伺う。
 - ア 市道北野・浜四ツ屋線における北野・柳原中村線までの歩道整備（路側帯の拡大表示）
 - イ 北野・高塚線における柳原・中村線までの拡幅（路肩の補強立ち上げ）
 - ウ 浜四ツ屋町内1号線の整備
 - エ 横断歩道の表示が必要な箇所
 - (ア) 四ツ屋・浜四ツ屋線における柳原・中村線の交差点
 - (イ) 大窪・四ツ屋線におけるインター線の交差点
 - (ウ) 柳原・中村線におけるスポーツ健康の森と駐車場の間
 - オ 通学路の防犯灯の整備
- (4) 昨年、学校周辺あるいは通学道路において、不審者情報が多くあるが、今後どのような対策をされるのか。

浦田 竹昭 議員（代表質問）

1 第2子保育料の完全無料化について

- (1) 第2子保育料等の無条件完全無料化の問題点から、財政（財源）は大丈夫なのか、税金が上がらないのか、今後この事業が継続出来るのか、廃止・見直しができるのか、他の行政サービスに支障は無いのか、他の行政サービスも完全無料化せよの声が出るのでは、一点集中政策で少子化が解消できるのか等、についての見解は。
- (2) 第2子保育料軽減施策から、納税の確認、所得制限の必要性、何割かの補助・助成制度、ある程度の受益者負担の必要性、多子世帯の低所得者救済・弱者救済等の条件の検討についての見解は。
- (3) 第2子保育料等の無条件完全無料化の政策課題について、庁内での検討の経緯は、いつから、どのような組織で、どのようなメンバーで、どれだけ、どのような内容で、検討されたのか。また、議会への事前の情報開示、議論の機会についての見解は。

2 少子高齢化、人口減少対策について

- (1) 今日の少子高齢化、人口減少の現状への認識、並びに、その対策への諸施策についての見解は。
- (2) 庁内に人口減少対策を横断的に取り組む人口減少対策課の設置、あるいは、対策本部の設置、協議をする委員会、プロジェクトチーム等の設置への検討と議会との連携についての見解は。
- (3) 少子化対策として、切れ目のない子どもを産み育てる環境整備の推進（例えば、幼保育児、小中学生、高校生、大学生に、妊娠出産期から乳幼児期そして就学期まで、それぞれに見合った支援制度の創設）、3世代同居・近居の推進、若者の地元定着の推進、若者の移住・定住の推進、若者のU I J ターンの推進、若者の結婚率向上の推進、若者の雇用環境整備の推進、等々幅広い総合的な対策支援事業の検討・実施、並びに産・官・学・金、そして地域との連携についての見解は。

3 屋内練習場建設について

- (1) 屋内練習場の建設構想について、市の総合計画や前期基本計画、並びにスポーツ・健康の森公園の整備計画に盛り込まれている事業なのか。
- (2) 屋内練習場建設の基本構想、基本設計・計画は。屋内練習場の必要性、緊急性、優先順位は。また、議会への事前の情報開示は。これらの見解は。
- (3) 屋内練習場の建設について、施工の時期、建設場所、規模、目的、運動内容、建設予算規模、並びにその財源について伺う。

4 理数教育推進について

- (1) 科学・理数・ものづくり教育推進事業の28年度の指定校は何校でどの小学校か。また指定校以外の小学校はいつから実施されるのか。
- (2) 理数教育の対象学年、具体的なカリキュラム、並びに教育内容等について伺う。
- (3) 理数教育の講師、並びに実験・観察等のアシスタント、安全の確保を含めて、どのような人材を何人、どのように確保されるのか。
- (4) 理数教育備品について、全小学校の備品調達か。また備品の主な内容・中身は何か。

5 小学校を核とした地域づくりについて

- (1) 人口減少と地域の伝統・文化・社会の衰退、山林・田畑・用水・河川・自然の荒廃等との関連、並びに、それらの対策・取り組みについての見解は。
- (2) 地域の活性化、地域振興、連携・連帯の推進の観点から、各地区の小学校を核・中心とした地域づくりの政策事業の推進についての見解は。(学校支援地域本部、コミュニティ・スクールの設置、並びに放課後子ども教室の実施について)

6 教育委員長の所信について

- ・ 子どもたちの不登校やいじめの問題、学校事故、教育を取り巻く環境の変化等、課題の多い教育行政での、今後の子どもたちの健全育成と保護者への対応等、並びに教育委員会、総合教育会議等について、教育委員長としての所信を伺う。

古沢 利之 議員（代表質問）

1 国民健康保険について

- (1) 被保険者の所得は、全体として低下しているのではないか。国保税に対する負担感について、どう認識しているか。
- (2) 国は国保への支援金として、今年度1,700億円を交付するとした。滑川市へはいくら交付されたのか。
- (3) 支援金はどのように活かされるのか。
- (4) 29年度には、さらに追加して交付される予定だと聞くが、保険税全体の引き下げに活かさないか。（軽減対象のさらなる拡大を）

2 砂利採取埋め戻し地の調査結果について

- (1) 埋め戻し地のボーリング調査結果が報告されたと聞く。滑川市内に新たな不適切事例はなかったか。
- (2) あったとすれば、今後の対応は何か可能か。

3 屋内練習場建設事業について

- ・ 現時点での施設の概要（構想）を示されたい。（広さ、利用対象者、事業費規模、緊急性等）

4 家庭用火災警報器の普及について

- ・ 家庭用火災警報器の設置が義務付けられて数年が経過した。当初ほど話題に上らなくなっているのではないか。設置率向上のためにどうするのか。

岩城 晶巳 議員（一般質問）

1 観光客誘致事業について

- (1) 新幹線開業年の昨年、滑川市への効果はどの程度と考えるか。
- (2) 新幹線の富山駅や黒部宇奈月温泉駅に、滑川についての観光案内広告はあるのか。
- (3) あいの風とやま鉄道の滑川駅が改装されると聞かすが、概要を詳しく伺いたい。
- (4) なめりかわイメージアップ推進事業の首都圏女子大生対象モニターツアーについて
 - ア 市としての狙いは。
 - イ 女性だけに限定した理由は。
 - ウ どういうかたちで募集するのか。
 - エ 何人ほどを予定しているのか。
 - オ 交通費・滞在費は、市が全部または一部を負担するのか。
 - カ 来滑の時期は。

2 安全・安心なまちづくりについて

- (1) 公設消防団への手当の増額での改正が提示されたが、私設消防組への助成は増額しないのか。
- (2) 富山県東部消防組合に合併前までは、火災警報器の取り付けについて力強く推進をしていたが、今はどうなのか。
 - ア 防火に役立っていると考えるか。
 - イ 役立っていると考えるならば、一部助成してでも普及したらどうか。
 - ウ 現在の普及率を把握しているか。
- (3) 防犯カメラの設置について
 - ア 現在の設置場所は何カ所か。
 - イ 今後の設置予定は。
 - ウ 旧国道8号に3カ所地下道になっている通学路がある。子どもたちの安全・安心のため優先的に設置すべきでないか。

- (4) 全国で毎日のように幼児虐待のニュースが耳に入るが、滑川市においてそのような事案はあるのか。こういう事案は市がどうかかわるのか。
- (5) 滑川市内の地方鉄道の踏切は17カ所あると思うが、まくら木のままになっているのは4カ所である。車の走行時騒音になり住民から苦情が寄せられている。鉄道軌道安全輸送設備等助成金を負担している観点から早急な改修要望を。

3 養鶏場建設問題について

- ・ 平成22年3月議会で初めて取り上げた事案で、6年間未着工であるが、これをどうとらえているか。過去、未確認情報はよく聞いていたが、確認する手立てがなく、はがゆい状況のままである。現況と対応について伺う。

水野 達夫 議員（一般質問）

1 駅周辺の都市計画について

- (1) 現在策定中の都市計画マスタープランにおいて、滑川駅及び中滑川駅周辺の将来像はどう描かれているのか。
- (2) 新年度予算として計上されている駅前再開発事業調査費 100 万円で何ができるのか。
- (3) 駅周辺の再開発を考えるには、ハード・ソフト両面からの議論が必要だと思われる。今回立ち上げられる予定の協議会には若手や外部からの目線として、いわゆる「ヨソモノ」をたくさん登用すべきだと思うが市の見解はどうか。

2 ダイビングスポットの今後の展開について

- (1) 年々滑川を訪れるダイバーが増えてきているが、受入れに関しては、漁協の多大なご理解があってこそ成り立っている。円滑な海洋レジャーの場を提供するためにも、関係者による協議会を早急に設立すべきだと思うがどうか。
- (2) ハード整備の設置位置に関して市の見解はどうか。
- (3) 日本のみならず世界中のダイバーからも注目を集めている滑川のダイビングスポットを今後どのような形で情報発信していくのか。
- (4) 例えば、ダイビング体験事業やシュノーケリング教室、磯場の観察遊び等のソフト事業も充実させるべきだと思うがどうか。
- (5) 例えば、新観光船「キラリン」のオフシーズン利用に関して、ボートダイビングでの利用も考えられないか。

3 タラソピアの今後の運営方針について

- (1) 来年度の予算において、WAVE滑川への指定管理料が減額となって

いるが、その理由と内容は何か。

- (2) 施設設備充実費に関して、タラソピアの機械設備等の予算計上が全くないが、年度途中で機械の故障等、不具合が生じた場合の対処はどうするのか。
- (3) 現在、ほたるいか観光施設条例の目的に沿って設置された深層水体験施設タラソピアを「健康福祉施設」に位置付けるのは、条例上無理があると思うが市の見解はどうか。
- (4) 改めてチャレンジするには、それ相応の投資も必要と考える。その予算計上もないままに、いつまでどうチャレンジするのか。

尾崎 照雄 議員（一般質問）

1 並行在来線について

- (1) 経営安定基金の本市の拠出額について
- (2) JRのきっぷをクレジットカードで購入できないか。

2 安全・安心について

- ・ AEDについて
 - ア 市内の設置状況について
 - イ 利用状況と保守管理状況について
 - ウ プライバシーへの配慮について

3 鳥獣被害防止対策について

- ・ サル捕獲檻(大規模捕獲用)の購入について

4 教育について

- (1) 科学・理数・ものづくり教育推進事業について
- (2) 理科室での調理実習の改善について

5 認知症対策について

- ・ 初期集中支援チームの設置について

原 明 議員（一般質問）

1 滑川市の消防について

- (1) 消防団員の減少が全国的に問題となっているが、滑川市消防団の現状は。
- (2) 女性団員の活動状況について
- (3) 消防団員を対象に「消防団応援の店」が県内で拡大しているが、滑川市の取り組みは。

2 観光の振興について

- (1) 滑川市の紹介、チラシ、観光パンフレット等への外国語版の作成を。
- (2) 観光案内所の整備運営について
- (3) 北陸新幹線から見える看板設置について
- (4) 観光遊覧船の活用について
 - ・ クルージングのコース設定
- (5) ふるさと龍宮まつり、古代神踊り、街流しへの参加者増加に向けての取り組みについて

3 郷土芸能の伝承について

- (1) 郷土芸能の伝承と育成について
- (2) 中学、高校での郷土芸能クラブの設置を。

4 教育の向上について

- ・ 北加積小学校教育施設設備、計画について

高橋 久光 議員（一般質問）

1 今議会に提出されている林業費の100万円の計上について

- (1) 上市町と共同で実施する小森と黒川地内における遊歩道等の整備に係る基本計画作成業務負担金という説明だが、具体的に経緯やルート等について伺う。

2 東福寺野自然公園のあり方について

- (1) 東福寺野自然公園研修センターやS Lホテル、バーベキューハウス、パークゴルフ場等の状況について、現状は万全か伺う。
- (2) それぞれの施設が一貫した、市民が寄り集まりやすいネーミングに変更したらどうか。また、それぞれの施設でリフレッシュしなければならない箇所もあるのでは。
- (3) 公園周辺一帯の鳥獣対策は万全か伺う。

3 有害鳥獣対策について

- (1) 今年度及び現状の対応、対策について伺う。
- (2) 狩猟免許等取得費に係る補助金が計上されているが、見込みについて伺う。

4 市内を通過している富山地方鉄道沿線にある駅周辺の整備について

- ・ 富山側から中加積、西加積、西滑川、中滑川、滑川、浜加積、早月加積、越中中村等の駅前及び周辺の利便性や景観等、富山地方鉄道との話し合いや協力体制等について伺う。

青山 幸生 議員（一般質問）

1 農業について

- (1) 新たに組織された経営体の育成と経営体質強化に必要な農業機械等の整備に対して補助する目的は。
- (2) 滑川市での青年就農給付金の利用実績は。
- (3) 認定新規就農者に該当する要件は。

2 市立図書館について

- (1) 図書館基本構想における現在までの工事進捗と第2期市立図書館リニューアル工事の概要は。
- (2) 5つの「めざす姿」の〈支える〉では、特にレファレンスサービスの向上が必要になるが、具体的対策は。
- (3) 蔵書数とリニューアル工事後の書架、書庫は適正になるか。
- (4) 基本構想で事務室には、最低2人の職員配置が必要とあるが、リニューアル後の職員体制は。
- (5) リニューアルで原因不明な雨漏りは特定、解消できるか。また他にクラック等などの点検はしているか。
- (6) リニューアル後の駐車場確保はできるか。
- (7) 目玉とされるカフェコーナーの運用形態は。

3 利便性の向上に向けて

- ・ ミュージアム前広場駐車場整備工場の具体的な内容は。

4 理数教育について

- (1) 理科教育備品は、何をどの規模で購入し、各学校に配分するのか。
- (2) 理数教育推進指定等とは、どのような指定になるのか。

竹原 正人 議員（一般質問）

1 子育て支援について

- (1) 今定例会の市長提案理由説明の中で、「子育て世帯の経済的負担を軽減するため、第2子の保育料等の完全無料化を実施する。」とある。保育料等の「等」と完全無料化の「完全」とは何を意味するのか、見解を伺う。
- (2) 妊娠から就学期までの切れ目のない支援を実施するために、いくつかの事業展開することとしているが、就学期よりも就職期に置き換えて考えるべきではないか。
- (3) 子育て支援のさらなる充実を図るため、多世代同居等を推進する事業が不可欠であると考えているが、今回の新年度予算にそれらしき事業の予算付けがされていない。政策の立案・実行はいつなのか。

2 空き家・空き地・空き部屋対策について

- (1) ホームページ上で紹介している空き家・空き地バンクの登録状況と実績は。
- (2) 紹介物件の外観写真や間取り図など見にくいし、イメージしにくい。もっと買ってください、借りてくださいといった感じを出すべきと考えるが見解は。
- (3) 市が紹介する物件で、第3者から見ると安心感があることから、地元不動産業者とさらに連携し、市外・県外からの移住・定住に努めることはできないか。
- (4) 定住促進住宅の空き部屋解消のため、短期的使用のスポーツ合宿の宿舍、あるいは観光客の受け入れに民泊として活用するなど、利用方法として取り入れることはできないか。

3 子どもたちの学力向上について

- (1) 今年度の土曜学習モデル事業のアンケート結果をどのように捉えてい

- るのか。
- (2) 来年度の取り組みにアンケート結果を反映しているのか。
 - (3) いつまで“モデル”事業なのか。
 - (4) 理数教育の充実を図るため、備品等を予算化しているが、具体的な事業内容と得られる効果をどのように考えているのか。
 - (5) ICT教育の充実とあるが、市内小中学校のパソコン等のコンピュータ管理に多大なコストがかかっている。時代の流れとして、パソコンからタブレット端末への移行を視野に入れ取り組んでいくのか。

谷川 伸治 議員（一般質問）

1 滑川市ひと・まち・産業創生総合戦略について

- (1) 総合戦略策定委員会で、平成27年度の達成度の検証はいつ実施の予定か。
- (2) 総合戦略の具体的施策を実施するためには、市内を横断的に推進する必要がある、プロジェクトチーム等を設置すべきでないか。
- (3) 「ひと」が元気の具体的施策では、30項目の施策、70を超える事業があり、第2子保育料の無料化に特化しても人口減少を解消できないのではないか。
- (4) 「まち」が元気の具体的施策について
 - ア ほたるいか海上観光船の2隻運航体制を検討できないか。
 - イ まちの魅力アップ推進事業について
 - (ア) 首都圏女子大生対象モニターツアーの事業内容及び実施時期について
 - (イ) 著名人への市特産品ホタルイカを送ってPRする事業において、著名人とは誰か。

2 姉妹都市交流事業について

- (1) シャンバーグ市との国際交流事業について
 - ア 滑川市ひと・まち・産業総合戦略において、中学生によるシャンバーグ市との国際交流を通して国際感覚を身につけた人材育成を図るとあるが、いつ実施する予定か。
 - イ 平成29年6月シャンバーグ市ドゥーリー小学校親の会が本市を訪問される計画について
 - ・ 前回平成25年6月に訪問された際、子どもたちのホームステイを希望されたが、ホームステイ先が見つからなかったが、今回は是非ホームステイしていただき、交流を深めてもらいたい。
- (2) 新幹線を利用した小諸市との交流事業について
 - ア 昨年実施された各学校の交流事業の活動内容及び課題について

イ 昨年実施できなかった小諸市の子どもたちとの交流は検討されるのか。

ウ 滞在時間が多くとれないため、現地小学校との交流が難しいとすれば、新幹線を利用して糸魚川市のジオパークを見学することも検討できないか。

高木 悦子 議員（一般質問）

1 消滅自治体とならないために今すべきことを見誤っていないか

- (1) 2015年の国勢調査の速報値によれば、上田市政1年目の2010年当時と比較して、滑川市は902名、2.7%の人口減少となった。県内10市の人口減少率平均の2.1%よりも、富山県平均の2.4%よりも減少率が大きいという事実について、この間の政策を振り返って、どのように分析しているか。
- (2) この5年間の滑川市の人口動態（自然増減・社会増減のみならず、どの年代がどこへ行き、どの年代がどこから来ているかも含めて）の現状分析を分かりやすく示せ。
- (3) 滑川市民の転出先の筆頭は富山市。5年間で400人以上が滑川市から富山市へ転出超過となっているのはなぜか。富山市は子ども医療費無料化や保育料の無料化をしているから、富山市へ転出しているのか。
- (4) 富山県内で舟橋村が人口増加の結果となったが、子ども医療費は無料化ではなく、助成にも所得制限を設けている。舟橋村は滑川市以上の子ども施策を行っているか。
- (5) 富山市や立山町など県内の他自治体が打ち出した子育て支援施策と比較しても「無料化」には、何の工夫も将来展望も感じられない。知恵を出さずにお金で解決しようとする姿勢は、不交付団体など財政豊かな自治体の選択肢だ。滑川市の財政はそんなにも豊かなのか。
- (6) 子育てのつらさの理由トップは「将来の教育にお金がかかること」で、幼少期の教育費がトップの理由ではない。進学のための学習塾や習い事も含めて教育費がかかるのであって、支援すべきは高校生をもつ親や、大学など高等専門教育時だという認識はあるか。
- (7) 妊娠から就学期の切れ目ない支援に留まることなく、就学後から就職して滑川に帰ってきて住むまでの支援を考えるべきではないか。合計特殊出生率2.81を達成した岡山県奈義町の施策は一点豪華主義ではない。仮に保育料無料化と同じ1億1千万円を使うとすれば、より効果的なよりバラエティ豊かな施策ができるのではないか。

- (8) 滑川市で出生率を伸ばし、産み育ててもらっても、市外・県外に出て行った人に帰ってきてもらわなければ、努力が無駄になる。滑川市を支える即戦力の年代を転出させない、転入・移住してもらう等を第一に考えるべきではないか。
- (9) 転入者が増えれば、出生数も増える。定住・移住を促すことも含めて、バラバラではない一貫性のある施策を考えることはできないのか。
- (10) 上田市長は、あと何年、滑川市政の責任をとるつもりでいるか。
- (11) これまでの上田市政の6年間は、滑川市の危機的財政を建て直し、消滅自治体とならないための礎を築いてきたか。
- (12) 平成28年度と29年度の予算は破綻への第一歩を踏み出そうとしていないか。
- (13) 上田市長は、滑川市の「身の丈」をどのように考えているか。
- (14) 自治体の「身の丈」の尺度は「財政」だと考える。保育料の第2子完全無料化の今後20年間の財政的な裏付けを示せ。
- (15) 将来にわたる財政の裏付けのない政策は、「将来世代に借金押し付ける」ことにほかならないとは考えないか。
- (16) 人口減少に立ち向かう施策は、人口増加策を考えると同時に、たとえ人口が少なくなったとしても市民サービスを提供し続けられる自治体の屋台骨を強固にすることにあるとは考えないのか。

2 「ものづくりのまち滑川」を前面に出しすぎていないか

- (1) 理数教育の充実の否定はしないが、「ものづくりのまち滑川」にふさわしい人材を育成するためと聞かされ、多くの人が、滑川市は子どもたちの将来の選択肢を狭めようとしていると受け止めている。違和感を覚えないか。
- (2) 「ものづくりのまち滑川」にふさわしい人材を育成するというのは、教育委員会の考えか。

- (3) 「N＋D＝！」に寄せられた、多くの若い世代の声は「商業施設」や「遊戯施設」にあった。しかし、平成28年度予算の市長提案理由説明の産業振興に「商業」の視点が無い。市民が求めるものとの乖離が、富山市など市外への移住を誘発していないか。
- (4) 女性や若い世代に「起業」の思いはあるが、具体的なノウハウを学ぶ術が提供されていない。起業予備軍には、商工会議所は会員のためのものというハードルが高いとされる。融資だけではなく、具体的な創業支援をするための施策を行えないか。

開田 晃江 議員（一般質問）

1 観光について

- (1) ホタルイカやほたるいかミュージアムを観光の目玉に。
 - ア 光彩に直通エレベーターを。
 - イ 駐車場の整備で、ホタルイカの句碑はどのように設置するのか。（句碑に銘板をつけるか、つけないか）
 - ウ 地方創生の中で、滑川市の「ホタルイカ」を通年で食べてもらう取り組みを。急速・冷凍設備を考えていないか。
- (2) 「ものづくりのまち滑川」をどんどんPRするために、産業観光ルートの設定を。
- (3) 観光船の運航スタートと産業観光を考え、観光課の新設を。
- (4) 新幹線から見える看板設置について
 - ア どこで、どのようなものを想定しているか。
 - イ 市民の提案や議会からの提案を募集するか、しないか。

2 みのお温泉集客について

- (1) みのお温泉利用促進の中で、生活環境課と話し合っ「のるマイカー」のバスの更新時に下取りに出さないで、青雲閣のバスのように営業に回ればどうか。次のバスの更新は何年後か。
- (2) みのお温泉行きを縦道だけでなく、横断経路を独自に営業することにより、また、ファミリーハウスにエレベーターも設置することからも集客が大いに期待できるのではないか。

3 市民の安全について

- (1) お年寄りや子どもたちの通学のため、交差点に歩行者信号の設置を。
 - ・ 市内の横断歩道に、必要と思う歩行者信号がない箇所は、どれくらいあるか。また、どのように対応しているか。
- (2) 「オレオレ詐欺」防止について

- ア 近年の市内の被害状況、件数、金額は。
- イ 受け子と呼ばれる人の人相画を広報に入れて、お金を渡さない呼びかけを。
- ウ 電話による手口が一番多いので、通話録音装置の推進を。

角川 真人 議員（一般質問）

1 介護について

- (1) 毎年、高齢人口が増え続けているが、そのお世話をするための介護職員は足りているのか。
- (2) 認知症を患った方による交通事故が増加している。防ぐための手立てや、もしもの時の対処はどのようになっているのか。

2 滑川駅周辺の整備について

- (1) 今回の議案の中に駅の待合室などの整備が挙げられていたが、これを機にトイレの整備も行ってはどうか。
- (2) あいの風の滑川駅から地鉄側への移動がわかりにくいのか、よそから来られた方に聞かれることがしばしばある。表示をもっとわかりやすくできないか。

3 公園のトイレ整備について

- ・ いをのみ公園から市営球場までのウォーキングコースには、トイレが少ないうえに和式便器が設置されている。個室の数をもう一つ増やすか、今あるものを洋式にできないか。